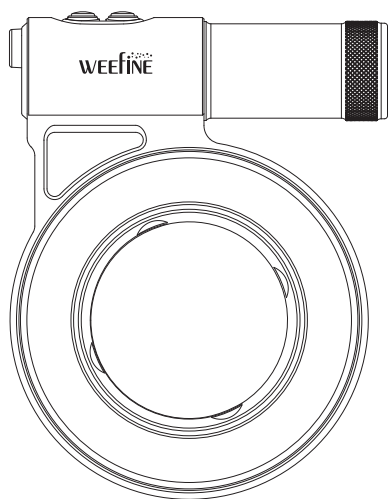




WEEFINE

リングライト3018

30479

Fisheye

20250603

目次

<はじめに>	
●安全にお使いいただくために	3
●仕様	4
●各部名称	5
<使用方法>	
●バッテリー装填手順	6
●充電方法	6
●ハウジングへの取り付け	8
●光ファイバーケーブル	9
●操作方法	10
<メンテナンス>	
●Oリングのチェック	12
●浸水テスト	13
●使用後の手入れと保管方法	13
●オーバーホール	13

取扱説明書について

- ・本書の内容は、予告なく変更することがあります。
- ・本書の内容について、誤り、記載漏れ、印刷ミス、不明な点がございましたら、弊社もしくはお近くの販売店までご連絡をお願いいたします。
- ・本説明書の一部もしくは全ての転載、コピーなどは個人でご使用になるもの以外一切認められません。

安全にお使いいただくために

- この説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
- 誤った使い方をされますと、故障や水没の原因となり、修理不能になる場合があります。
- ご使用の際にはこの説明書に従い必ず点検、テストを行ってください。
- 分解、改造、修理に伴う事故などに関し、当社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。また、使用時の人身、物損事故に関しての補償は致しかねます。

安全上の注意

ここに表示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつくおそれがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください

- | | | |
|---|-----------|---|
|  | 危険 | 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容 |
|  | 警告 | 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容 |
|  | 注意 | 取扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容 |

危険

- バッテリー接点部同士を、金属板や針金などで接続しないでください。感電や発火の原因になります。
- 本製品を改造・分解しないでください。発熱や発火の原因になります。
- ナイトダイビングや洞窟など暗い水中でのメインライトとして使用しないでください

警告

- 本製品を乳児、幼児、小さなお子様など、本製品の取扱いの注意事項などについて理解できない人の手の届く場所に保管しないでください。
- ライト本体にバッテリーを入れたまま保管しないでください。ガスや液の発生によって、人体に影響を及ぼす危険があります。
- 本製品をご自分の目や他人の目のに向けて照射しないでください。失明や視力障害など重大な障害を引き起こすおそれがあります。
- 本製品の発光部を床やテーブルに伏せた状態で点灯させないでください。また、燃えやすいものの近くで点灯させないでください。火災の原因となるおそれがあります。
- 必ず専用のバッテリーと充電器をご使用ください。他の製品を使用すると本製品を破損させたり、ガスが発生して危険な状態になる場合があります。
- 濡れた手でバッテリーや充電器を触ると感電する危険性があります。バッテリーは十分に乾いた手で取り扱ってください。

注意

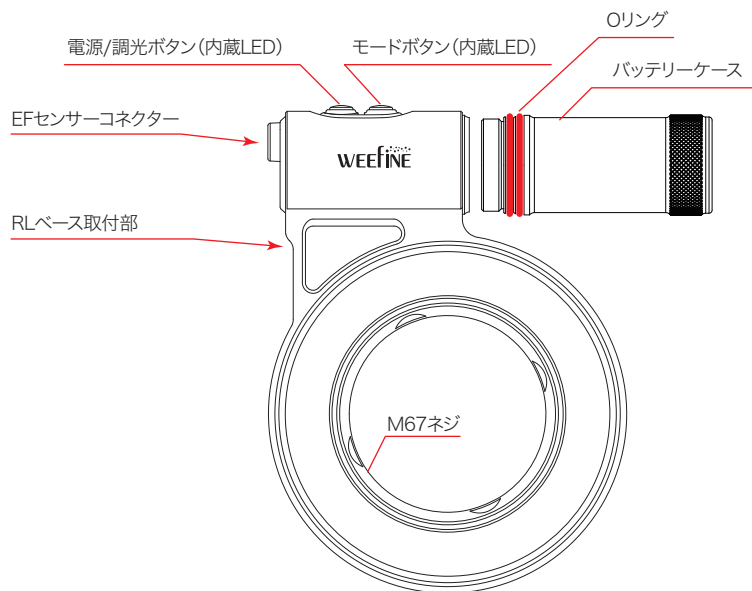
- 本製品は100mの水深まで耐えられるように設計されています。それ以上深い場所で使用されたり、それより浅い深度においても衝撃や圧迫を加えますと、破損・浸水のおそれがあります。
- 浸水や故障などの事故を防ぐためにこの説明書を良くお読みになり、ご使用前後に必ず点検とメンテナンスを実施してください。
- 気温が異常に高くなる、あるいは低くなる場所、極端に大きな温度変化がある場所などに本製品を置いたり、保管したりしないでください。部品が劣化し、破損したり防水機能を損なったりするおそれがあります。
- 本製品より異音や異臭がする場合や煙が出たりする場合は、バッテリーを取り外し、お求めになった販売店にて修理をご依頼ください。
- 万一、浸水が発生した場合、速やかに電源を切り、バッテリーを取り外してください。濡れているバッテリーに直接触れると感電の危険性がありますので取扱には十分ご注意ください。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの有機系溶剤は、変形などの原因になりますので絶対に使用しないでください。
- 万一、浸水が発生した場合、すぐに使用を中止してください。また、浸水している場合、本製品内部の圧力が高くなっていることがあります。バッテリーケースを開ける際、水が噴き出したり、バッテリーが跳ねたりすることがありますので、十分ご注意ください。

仕様

最大光量	3000ルーメン(EFモード)／1800ルーメン(ワイド)／ 70ルーメン(レッド)／100ルーメン(ブルー)
水中照射角	90度
色温度	5000～5500K(ワイド)
最大光量時連続点灯時間*	45分(ワイド)／520分(レッド)／230分(ブルー)
最大光量時瞬間光照射回数	5000回
陸上点灯可否	不可
充電時間	3.5時間
付属バッテリー容量	5000mAh
本体材質	耐腐食アルミ合金
耐圧水深	100m
サイズ	W124 x H160 x L41mm
陸上重量	477g
水中重量	243g
付属品	Li-ion/バッテリー26650、CH-7チャージャー、 USB ACアダプター、USBケーブル、スぺアOリング、 Oリングリムーバー、Oリンググリス

*約10分間のセーフティモードを除く

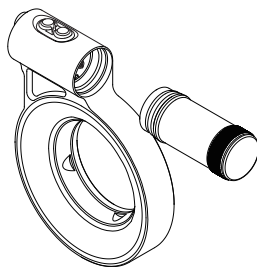
各部名称



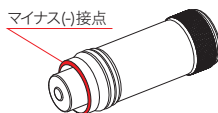
使用方法

バッテリー装着手順

1. バッテリーケースを反時計回りに回しライト本体から取り外します。
2. バッテリーをマイナス側からバッテリーケースへ装填します。
3. バッテリーケースのOリング、ライト本体のOリング接触面にゴミや砂などが付着していないか確認します。
4. バッテリーケースを時計回りに止まるまで回して取り付けます。

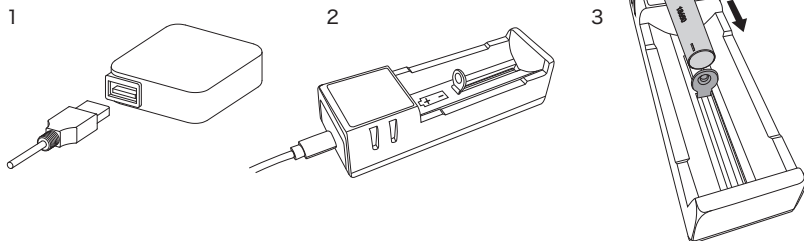


⚠ 注意 バッテリーケースの縁は、本製品の電源のマイナス(-)接点となります。接点に汚れや異物が付着していたり、ケースの締め込みが不十分だったりすると、正常に点灯しない場合があります。



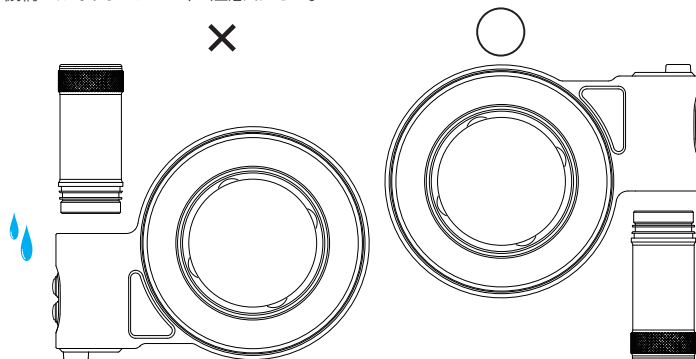
充電方法

1. USBケーブルACアダプターのACプラグを電源コンセントに差し込みます。
2. USBケーブルのUSB-A端子をUSBケーブルACアダプターのポートに差し込みます。(図1)
3. USBケーブルのC端子をバッテリーチャージャーのポートに差し込むと、バッテリーチャージャーの「FULL」の緑ランプが点灯します。(図2)
4. バッテリーをバッテリーチャージャーのスライダーを押しながら装填します。バッテリーが正しく装填されていれば、「FULL」の緑ランプから「CHG」の赤ランプに切り替わり充電が始まります。(図3)
5. 充電が完了すると、「CHG」の赤ランプから「FULL」の緑ランプに切り替わります。(充電時間は最大約3.5時間)
6. 充電完了後、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外し、USBケーブルもバッテリーチャージャーおよびUSBケーブルACアダプターから取り外します。
7. 電源コンセントよりUSBケーブルACアダプターを取り外します。



❗ バッテリー装填時の注意

使用後は、ライトに付着した水分を拭き取り、十分に乾いた状態でバッテリーケースを取り外してください。水に濡れたまま取り外すと、水滴を本体内部へ落下させてしまうおそれがあります。内部は防水機構ではありませんので、ご注意ください。

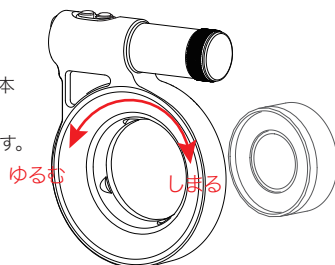


- ❗ 危険
- 充電中はバッテリーやチャージャーが熱を持つことがありますので、絶対に紙や絨毯など燃えやすい物の上で充電しないでください。
 - ケーブルを束ねた状態で充電すると、発熱により発火の原因となるおそれがありますので、絶対におやめください。
 - 濡れた手、濡れた環境での充電は、感電するおそれがありますので、絶対におやめください。
 - 水没した、あるいは水没しているおそれのあるバッテリーを絶対に充電しないでください。
- ❗ 警告
- 充電が完了したら速やかにチャージャーを外してください。コンセントに差しのまま放置すると、アダプターがショートし、発火の原因となるおそれがあります。
 - USB ACアダプターはマルチボルト(100-240V)対応ですが、自家発電のリゾートやクルーズ船など不安定な給電での使用は、異常な高電圧によりACアダプターを破損させてしまうおそれがあります。安全回路内蔵の変圧器を併用されることをおすすめします。
- ❗ 注意
- 振動や衝撃、落下などでチャージャーからプラグが外れることがないように、安定した場所で充電してください。
 - バッテリーおよびチャージャーを30°C以上の高温になる所や直射日光の当たる所に放置しないでください。

ハウジングへの取り付け

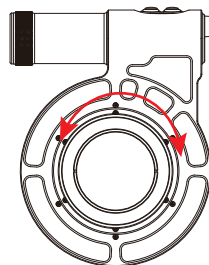
M67マウントへの取り付け

1. 本体背面のM67ネジを使用機材側のM67ネジに合わせ、本体を時計回りに回して取り付けます。
2. 取り付け後、バッテリーケースをお好みの位置にセットします。
本体は360度回転可能です。
3. 取り外しは、本体を反時計回りに回します。



M52マウントへの取り付け

1. 本体背面のM67ネジに別売オプションの『FIXアダプターリング F67-M52』を取り付けます。
2. リングを使用機材側のM52ネジに合わせ、本体を時計回りに回して取り付けます。
3. 取り付け後、バッテリーケースをお好みの位置にセットします。本体は360度回転可能です。
4. 取り外しは、本体を反時計回りに回します。



注意

カメラの内蔵フラッシュからレンズマウントまでの距離が短いハウジングは、光ファイバーのコネクターが干渉して本製品が取り付けられないことがあります。その場合は、スペーサーも兼用する『FIXアダプターリングF67-M52L』をご用意ください。また、同様の理由から、『FIXマルチオプティカルケーブルII』および『FIX NEOオプティカルケーブルII SC-S』は本製品に適合しません。次ページ掲載の推奨ケーブルをお使いください。



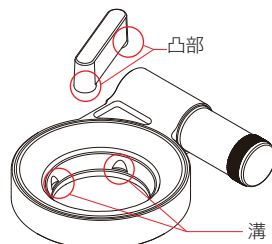
NOTE

別売オプションの『WFボールベースM5RL』または『FIX RLベース』を取り付ければ、ボールジョイントや各種アダプターを介してのアームライティングも展開可能です。

リングライトリムーバーの使い方

本製品のM67マウントは過度な力で締め込みができない構造になっています。しかし、何らかの原因で取り外しが困難な場合は、同梱のリングライトリムーバーをご使用ください。

1. リムーバーの凸部をマウント内側前部の溝に合わせます。
2. ハウジング(またはポート)をしっかりと保持して、リムーバーを反時計回りに回します。
3. マウントのネジが緩んだら、リングライトを取り外します。



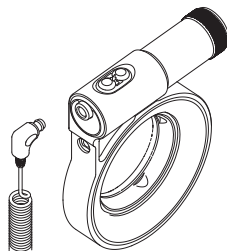
注意

「FIX マグネットアダプターリングRL1000セット」を使用した場合、脱落、紛失する場合がありますので、使用はおすすめできません。

光ファイバーケーブル

ケーブルの接続

リングライト本体のEFセンサーコネクタとカメラハウジングの光ファイバーコネクタを光ファイバーケーブルで接続します。コネクタの形式はSEA&SEAタイプです。



⚠ 注意 コネクタに挿入しにくい場合は、先端のOリングに適量なグリスを塗布してください。

推奨ケーブル

接続用の光ファイバーケーブルは、以下をご用意ください。

- NA一眼レフカメラハウジング:『NAユニバーサルオプティカルファイバー』または『NAオプティカルファイバー-S&S』
- NAミラーレス/コンパクトカメラハウジング:『NAユニバーサルオプティカルファイバー』または『NAオプティカルファイバー-NEX-S&S』
- オリンパス純正防水プロテクター:『水中光ファイバーケーブルPTCB-E02』

その他のハウジングについてはお問い合わせください。

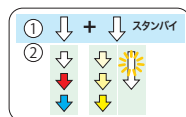
操作方法

内蔵LED

電源/調光ボタン

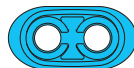


モードボタン



点灯

電源/調光ボタンとモードボタンを同時に約1秒間長押しし、一度離れたあと、モードボタンを押すと点灯します。



消灯

電源/調光ボタンとモードボタンを同時に約2秒間長押しすると消灯します。

点灯モードの切り替え

点灯状態で、モードボタンを押すごとに、ワイド光⇒レッド光⇒ブルー光*の順に点灯が切り替わります。

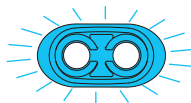
*ブルー光はフローダイビング(蛍光発光観察)には対応していません。特殊エフェクト光としてお使いください。

スタンバイモード

点灯状態で、モードボタンを約1.5秒間長押しすると、一時消灯します。もう1度モードボタンを約1.5秒間長押しすると、一時消灯する前と同じ状態で再点灯します。

FFモード

ワイド光またはレッド光の点灯状態で、電源/調光ボタンを約1.5秒間長押しすると、EFモードに切り替わります。EFモードに切り替わると内蔵LEDが点滅し、直前の点灯モードのまま約50ルーメンの低輝度点灯状態となります。再度、電源/調光ボタンを約1.5秒間長押しすると、元の点灯状態に戻ります。ブルー光からEFモードへの切り替えはできません。



NOTE

EFモード照射

- EFモードは、光ファイバーで接続されたカメラの内蔵フラッシュ光やLED光に連動し、あらかじめ設定した光量の白色瞬間光を照射します。
- 使用するカメラは、強制発光モードのように必ず内蔵フラッシュが発光する設定にしてください。
- EFモードは連写撮影にも対応しています。ただし連写速度はカメラの内蔵フラッシュの発光間隔に依存します。
- EFモードの瞬間光は、カメラ側の制御による自動適正露出には対応していません。
- 適正露出で撮影するためには、照射光量、ISO感度、絞り値、シャッタースピードを組み合わせで調節・調整してください。
- 水中でスムーズに撮影できるよう、あらかじめテスト撮影などで設定を確認しておくことをおすすめします。
- 適正露出での撮影については、弊社WEBサイトをご参照ください。

光量調節

点灯状態で、電源/調光ボタンを押すごとに、以下のとおり光量が切り替わります。

・通常点灯(ワイド光、レッド光、ブルー光)

[10%] > [25%] > [50%] > [75%] > [100%] > [10%] 以降繰り返し

・FEモード(ワイド光)

[25%] > [50%] > [75%] > [100%] > [25%] 以降繰り返し

NOTE

本製品には電源OFF時の光量設定を記憶する機能はありません。電源ON時は光量10%からのスタートとなります。

高温時保護モード

使用中にライト本体が50℃以上になると、自動的に高温時保護モードへ移行し、光量を20%まで落とします。高温時保護モードに切り替わった場合は、電源をOFFにし、ライト本体を冷却することをおすすめします。ライト本体は高温になっていますので、素手で触らないなど取り扱いには十分ご注意ください。温度が50℃未満まで下がると再び復帰します。



注意 本製品は陸上での通常使用はできません。陸上においては動作確認程度の発光に留めてください。

セーフティモード(自動減光機能)

点灯時にバッテリー残量が残り少なくなると、自動的に光量を20%まで落とし、内蔵LEDが赤色点滅します。この状態で約10分間点灯後、自動的に電源がOFFになります。EFモードの低輝度点灯状態からはセーフティモードに移行しません。

内蔵LED表示

本製品は内蔵LEDの表示により、残電量をモニタリングすることができます。

点灯時／青色点灯: 満充電、緑色点灯: 残電量80~30%、赤色点灯: 残電量30~20%、赤色点滅: セーフティモード

EFモード／青色点滅: 満充電、緑色点滅: 残電量80~30%、赤色点滅: 残電量30~20%*

*残電量30%以下では、最大2600ルーメンまで減光された瞬間光照射となります。

メンテナンス

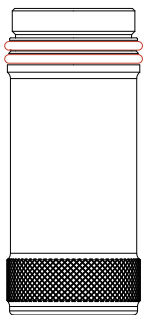
Oリングのチェック

本製品は専用のOリングによって防水機能を維持しています。本体とバッテリーケース間の2本のOリングは、ユーザーによるメンテナンスが必要です。長期間ご使用されない場合は、Oリングに付属のシリコングリスを薄く塗ってから保管してください。また、Oリングは1年毎に交換されることをおすすめします。



注意

- Oリングを外す際は、絶対に金属製の鋭利なもの(はさみやナイフ)を使わず、付属の「Oリングリムーバー」をご使用ください。
- Oリングの摩擦や劣化を防ぐため、Oリングの表面に付属のOリンググリスを薄く塗布(グリスアップ)します。その際、砂や小さなゴミ、髪の毛などが付着していないか必ず確認してください。また、Oリンググリスが多すぎると、かえってゴミやホコリが付きやすくなりますのでご注意ください。
- Oリング面に小さな傷やひび割れなどがある場合は、絶対に使用せず、すぐにスペアのOリングに交換してください。
- Oリング溝、Oリング接触面にも、砂や小さなゴミ、髪の毛などが付着していないか必ず確認してください。また、傷やひびなどがないかもしっかり確認してください。
- Oリング溝にOリングを装着する際、Oリングがねじれたり、はみだしたりしないようにご注意ください。
- OリングやOリング溝のチェック、グリスアップなどは、ボディの開閉ごとに実施してください。



浸水テスト

本製品の使用前に、浸水テストの実施をおすすめします。水を張った洗い桶や洗面器などに、本製品を水平を保ったまま浸してください。3秒で一度、30秒で一度、3分間で一度、水から取り出して本体ケースを開け、内部に浸水がないことを確認してください。

使用後の手入れと保管方法

1. 使用後は、必ずハウジング/ポート/アダプターリングなどから取り外してメンテナンスを実施してください。ねじ込んだまま放置すると固着するおそれがあります。
2. ライト本体をおよそ10～20分程度、真水に浸けておいてください。また真水の中で、電源/調光ボタン、モードボタンを数回押して、ボタンの周囲についた塩分を洗い流してください。
3. 真水から上げたら、弱い流水で洗ってください。強い水流を一定方向から当てると浸水の原因となりますので、絶対におやめください。
4. 水洗い後は、乾いた柔らかい布などで水気をよく拭き取ってください。直射日光による乾燥、ドライヤーやストーブによる乾燥は、故障や変形、破損の原因となりますので絶対におやめください。
5. 使用後は、Oリングにシリコングリスを薄く塗ってから保管してください。Oリングは1年毎に交換されることをおすすめします。
6. 長時間使用しない場合は、高温多湿、直射日光、極端に気温が下がる場所を避けて保管してください。
7. アルコールやシンナー、ベンジンなどの有機系溶剤や中性洗剤は、変形や破損の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

NOTE

別売りの『FIX メンテナンスキット』に含まれる、塩害防止剤『ソルトアウェイ』をご使用いただくと塩分除去に一層効果的です。



注意

海水でご使用後、そのまま放置すると細かいすき間などに塩分が残り、乾燥するとその塩分が結晶となり水に溶けなくなってしまいます。結晶化した塩分は時にOリングを押し上げ、浸水の原因になりますので、必ず真水に浸けて塩分を洗い流してください。

オーバーホール

本製品の使用回数に関わらず、1年から2年に一度の定期的なオーバーホールをおすすめします。製品内部にユーザー自身では交換できない防水パーツを使用しています。これらを定期的に交換・メンテナンスすることで浸水事故を防止し、製品寿命を延ばすことになります。一定期間が経過した製品は、ぜひ弊社カスタマーサービスまでオーバーホールをご依頼ください。